



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	84,030	△23.3	△732	—	△1,008	—	△1,990	—
2020年3月期第2四半期	109,618	△2.4	3,675	△22.4	3,968	△28.3	2,577	△40.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,741百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △511百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△49.20	—
2020年3月期第2四半期	63.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	296,637	164,407	54.3
2020年3月期	296,427	164,339	54.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 160,992百万円 2020年3月期 161,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2021年3月期	—	37.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	△16.4	1,500	△81.2	1,500	△82.5	1,500	△76.6	37.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	42,975,995株	2020年3月期	42,975,995株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,506,615株	2020年3月期	2,506,153株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	40,469,677株	2020年3月期2Q	40,470,751株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、経済活動が再開され政府の各種政策により持ち直しの動きが見られ始めましたが、景気は依然として極めて厳しい状況となっております。

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により世界同時不況に陥っており、全世界的にマイナス成長が予測される中、貿易摩擦に端を発した米中対立がより広範囲で長期化しており、欧州では新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う行動制限措置が発令され始めているなど、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、全世界的な景気悪化の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は84,030百万円と前年同期比23.3%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常損失は1,008百万円(前年同期は3,968百万円の経常利益)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,990百万円(前年同期は2,577百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、建築需要の減少に加えて、一部の産業用途向けの販売の減少、および米国建築用加工ガラス事業からの撤退により、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は、足元では回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各自動車メーカーの生産減の影響を受け、前年同期を大幅に下回り、海外も新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

ガラス繊維につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に自動車分野を主用途とする短繊維の販売が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は48,995百万円(前年同期比33.2%減)となり、損益につきましては3,464百万円の営業損失(前年同期比3,858百万円の悪化)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、主力のハイドロフルオロオレフィン製品が、次世代溶剤の販売は順調に推移したものの、断熱用発泡剤が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出荷量が大きく減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、医療関連製品の販売は世界的に不急の手術が先送り傾向にあることから、低調に推移したものの、半導体メモリ市場の回復により、半導体用途の特殊ガス関連製品の出荷が増加し、農薬関連製品、リチウムイオン電池用電解液製品の販売も好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、一部製品の需要が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は35,035百万円(前年同期比3.3%減)となり、損益につきましては2,732百万円の営業利益(前年同期比549百万円の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、売上債権が13,128百万円、有形固定資産が減価償却等により3,778百万円それぞれ減少する一方、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に備えた借入の実行などで現金及び預金が10,102百万円、株価の上昇などで投資有価証券が7,062百万円それぞれ増加したことなどにより、210百万円増加し296,637百万円となりました。

負債は仕入債務が3,684百万円減少する一方、借入の増加などで有利子負債が6,235百万円増加したことなどにより、142百万円増加し132,230百万円となりました。

純資産は利益剰余金が3,508百万円、為替換算調整勘定が1,438百万円それぞれ減少する一方、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が4,621百万円増加したことなどにより、67百万円増加し164,407百万円となりました。また、自己資本比率は54.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、10,226百万円増加し、35,235百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、減価償却費6,380百万円、運転資金の増減(売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減合計額)による収入6,415百万円などにより、10,106百万円の収入(前期は9,933百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の取得による支出3,595百万円などにより、4,215百万円の支出(前期は4,074百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、借入金等による収入6,442百万円、配当の支払による支出1,517百万円などにより、4,675百万円の収入(前期は6,139百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境につきましては依然として厳しい状況が続いており、先行きの不透明感が強いものの、当第2四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績となり、下期の見通しにつきましても現時点で前提条件ほか想定に大きな変更はありませんので、2020年7月31日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念はあるものの、再度の緊急事態宣言の発出などによる社会的制限には至らず経済活動は停止しないながら、経済の回復も緩やかなものととどまるという前提のもと、算定をしております。実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,256	36,358
受取手形及び売掛金	50,933	37,805
商品及び製品	29,687	31,464
仕掛品	4,605	4,291
原材料及び貯蔵品	18,440	19,555
その他	5,441	4,337
貸倒引当金	△717	△203
流動資産合計	134,646	133,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,987	29,022
機械装置及び運搬具(純額)	51,054	47,949
土地	25,629	25,594
建設仮勘定	5,452	5,938
その他(純額)	4,694	4,535
有形固定資産合計	116,818	113,039
無形固定資産		
その他	1,619	1,499
無形固定資産合計	1,619	1,499
投資その他の資産		
投資有価証券	34,231	41,294
その他	9,241	7,316
貸倒引当金	△130	△120
投資その他の資産合計	43,342	48,489
固定資産合計	161,780	163,028
資産合計	296,427	296,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,779	17,094
短期借入金	14,399	13,694
未払法人税等	391	472
賞与引当金	1,424	1,443
その他	31,577	25,285
流動負債合計	68,572	57,991
固定負債		
社債	30,400	30,400
長期借入金	16,310	27,347
役員退職慰労引当金	3	3
特別修繕引当金	6,668	6,929
事業構造改善引当金	1,846	1,649
環境対策引当金	22	38
顧客補償等対応費用引当金	5	-
退職給付に係る負債	5,881	6,077
その他	2,377	1,793
固定負債合計	63,515	74,239
負債合計	132,088	132,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	132,418	128,909
自己株式	△6,398	△6,399
株主資本合計	152,297	148,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,501	15,122
繰延ヘッジ損益	△407	△143
為替換算調整勘定	△1,735	△3,174
退職給付に係る調整累計額	350	399
その他の包括利益累計額合計	8,708	12,204
非支配株主持分	3,332	3,414
純資産合計	164,339	164,407
負債純資産合計	296,427	296,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	109,618	84,030
売上原価	87,172	68,293
売上総利益	22,446	15,737
販売費及び一般管理費	18,770	16,469
営業利益又は営業損失(△)	3,675	△732
営業外収益		
受取利息	53	22
受取配当金	549	431
持分法による投資利益	112	219
受取保険金	55	1,072
その他	841	585
営業外収益合計	1,613	2,332
営業外費用		
支払利息	328	232
為替差損	252	407
災害による損失	67	1,296
その他	673	671
営業外費用合計	1,321	2,608
経常利益又は経常損失(△)	3,968	△1,008
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	60	—
投資有価証券売却損	4	1
事業構造改善費用	—	96
特別損失合計	64	97
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,903	△1,104
法人税等	1,064	580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,838	△1,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	261	305
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,577	△1,990

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,838	△1,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,325	4,620
繰延ヘッジ損益	△161	263
為替換算調整勘定	△1,788	△1,407
退職給付に係る調整額	42	49
持分法適用会社に対する持分相当額	△117	△99
その他の包括利益合計	△3,350	3,426
四半期包括利益	△511	1,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△676	1,504
非支配株主に係る四半期包括利益	164	236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,903	△1,104
減価償却費	6,259	6,380
減損損失	60	—
のれん償却額	6	—
引当金の増減額(△は減少)	98	49
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,705	84
受取利息及び受取配当金	△603	△454
支払利息	328	232
受取保険金	△55	△1,072
持分法による投資損益(△は益)	△112	△219
投資有価証券売却損益(△は益)	4	△0
固定資産売却損益(△は益)	△97	1
固定資産廃棄損	237	302
売上債権の増減額(△は増加)	7,482	12,907
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,172	△2,965
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,251	△3,526
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,040	△879
未払費用の増減額(△は減少)	△920	△1,081
その他	2,403	282
小計	12,905	8,935
利息及び配当金の受取額	669	412
利息の支払額	△344	△232
保険金の受取額	55	1,072
法人税等の支払額	△3,352	△80
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,933	10,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△448	△948
定期預金の払戻による収入	539	1,034
有形固定資産の取得による支出	△7,727	△3,595
有形固定資産の売却による収入	134	6
投資有価証券の取得による支出	△423	△404
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,935	5
その他	△85	△312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,074	△4,215
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,769	△1,136
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	3,000	△4,000
長期借入れによる収入	—	15,000
長期借入金の返済による支出	△3,729	△3,421
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,023	△1,517
非支配株主への配当金の支払額	△522	△154
その他	△93	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,139	4,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△282	△340
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△563	10,226
現金及び現金同等物の期首残高	21,023	25,008
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	42	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,502	35,235

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念はあるものの、再度の緊急事態宣言の発出などによる社会的制限には至らず経済活動は停止しないながら、経済の回復も緩やかなものとどまるという前提のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損処理などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,397	36,220	109,618	—	109,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	591	597	△597	—
計	73,403	36,812	110,216	△597	109,618
セグメント利益(営業利益)	393	3,282	3,675	—	3,675

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,995	35,035	84,030	—	84,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	479	485	△485	—
計	49,001	35,515	84,516	△485	84,030
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△3,464	2,732	△732	—	△732

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。